

豊明市立栄中学校

〈本校の道徳教育の重点目標です！〉

違いを認め合い、思いやりの心をもって接することのできる生徒を育てます。

- 自分のよさに気付くことができる。
- 相手の価値観を受け入れ、互いに認め合うことができる。

福祉実践教室 11月11日(水)

講義
「視覚障がいについて」



高齢者疑似体験講座



〈生徒たちの声〉

「なんでそんなに歩くのが遅いのか。」祖父母は毎日、動きづらそうに歩いていました。僕はこれまで祖父母のことが分かっていませんでした。今回祖父母がどれだけつらいのかが分かりました。高齢者疑似体験で感じたよりも、もっとつらいのだと分かりました。これからは祖父母が困っていたら助けたり、他の人にも優しく道案内したり、挨拶もきちんとしていこうと思いました。

いざ自分で書いてみると、たくさんのルールがある点字はとても難しいものでした。ほとんどの公共の場で見られますが、まだ点字がない場所もたくさんあります。「少しずつでいいから点字案内を増やし、目の見えない人でも、目の見える人と同等の活動ができる世の中ができるといいな。」講師の方の言葉です。目が見えている生活は、当たり前ではありませんでした。これまで以上に自分の体を大事にしたいと思いました。また、自分にもできることがあります。これからの生活に役立てていきたいです。

テーブルに時計の文字盤を思い浮かべます。3時の位置には汁、9時の位置にはごはんなどと決めておきます。視覚障がいの場合の食事の工夫にはびっくりしました。この世界にはさまざまな人がいると改めて思いました。「みんなちがって、みんないい」（金子みすず）という言葉が好きです。人のためにできることをすると、人はもちろん、自分のためにもなります。

アイマスクをし、ガイドをしたことにより、リアルな怖さがわかりました。アイマスクをしてみると、歩くうちに自分のいる場所がイメージできなくなりました。聞けば、あそこかと分かりますが、居場所を1枚の絵で想像する感覚は今まで感じたことがありません。一番怖かったのは、何も言われぬまま進み続けることでした。見えない側はすごく不安でした。一方、ガイドをしていると、アイマスクをした友達の握る手が強くなってきました。不安になってきたのがわかります。詳しく位置や様子を説明するようにしました。

家庭・地域の皆様へ

- 4月に行う授業参観では、全クラス一斉に道徳の授業を公開します。学校へぜひお越しください。
- 合唱指導に力を入れています。練習中は生徒同士、気付いたことを話し合い、仲間の意見に耳を傾け、互いに認め合う雰囲気を大切にしています。10月に行われる合唱会にぜひお越しください。